

2017年度

D 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

近年、歴史学の研究において、「帝国」とは何かという問いに注目が集まっている。

かつての研究では、帝国といえば、西洋では地中海全体を覆う領土を支配したローマ帝国¹⁾、そして東洋では紀元前221年に中国を統一した（イ）が君主であった秦とそれに続く漢という、ユーラシアの東西に成立し展開した古代帝国を指していた。そこで想定されていた²⁾のは、専制君主である皇帝が、直接支配領域に居住する多様な民族集団を統治するという支配のモデルであった。

しかし近年の研究では、帝国の概念を、よりゆるやかな理解に変更しつつある。つまり、帝国とは、中心と周縁という関係に基盤を置き、その中央を頂点とする中央集権のもとに、多様な民族集団を統治するための組織を統合する政治システムだ³⁾という理解である。そのように考えた場合、古代から現代にいたるまでの世界史上には、さまざまな帝国が誕生し消滅してきた。ここでは、近世における事例として、ユーラシアにおける3つの帝国、すなわちオスマン帝国、ムガル帝国、清に注目してみよう。

14世紀後半にバルカン半島の（ロ）を首都としたオスマン帝国は、同半島の大部分を支配下に置き、1453年、ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを征服することで、地中海と黒海をつなぐルート⁴⁾を確立した。さらにオスマン帝国は、アルジェにいたるまで⁵⁾の北アフリカ、エジプト、紅海沿岸⁶⁾、ペルシア湾をのぞむイラク南部まで版図を広げ、地中海から紅海そしてインド洋に抜ける重要な交易ルートをおさえた。帝国内では宗教的寛容政策を採用し多様な信仰の共存を図ったが、18世紀中頃のアラビア半島では、ムハンマドの教えに立ち返ろうとする宗教運動と現地豪族の（ハ）家が協力して新たに王国が建国された。

1526年、かつて西・中央アジアを支配したティムールの子孫により、インド北部にムガル帝国がたてられた。皇帝（ニ）の時代にはラージプート諸国を平定して北インドを統一し、その後南進した。17世紀の後半には、インドの大部分とアフガニスタン⁸⁾を覆う広大な領域が支配されるにいたった。また、17世紀前半までのムガル帝国は、宗教的寛容政策をとっていたが、その後イスラームに有利な政策に転換したため、各地で不満がたかまった。その結果、17世紀の後半に、北部パンジャブ地方では非ムスリム集団⁹⁾が、デカン高原ではマラーター王国が、ムガル帝国に反旗を翻した。¹⁰⁾

1616年に女真の複数の部族を統一して成立した（ホ）は、のちに国号を清と改めた。朝鮮を服属させた清は、その後明の支配領域も併合した。台湾の鄭氏を滅ぼし、チベット¹¹⁾を保護下においたのち、（ヘ）帝の時代には、さらに内陸部に支配の手を伸ばすことで

最大版図を確立した。北方の女真が支配者階層となった清は、人口の多数を占める漢人社会を統治するため、さまざまな懐柔策を採った。しかし一方で、女真の風俗を漢人にも強要したり、言論弾圧もおこなわれることがあった。

このようなユーラシアの諸帝国は、近代に入り、弱体化の一途をたどった。その理由は、既に述べたような内的問題に加えて、ヨーロッパに生まれた新しいタイプの帝国が干渉してきたからである。ヨーロッパ諸国は、進出先を植民地化することによって、中心である本国と周縁である植民地を有するあたらしい支配体制をとる帝国となり、世界を分割した。¹³⁾オスマン帝国にせよ、ムガル帝国にせよ、清にせよ、当初は通商目的で接近してきたヨーロッパ諸国によって、次第にその内部に侵入され、最終的にユーラシアの諸帝国は解体されることになった。¹⁴⁾

19世紀に世界で支配的地位を築いたのは、広大な海外植民地と本国との間に効果的なネットワークを築き、帝國的支配を確立したイギリスであった。一方で20世紀にはいると、近代ヨーロッパ型の帝国とは異なるタイプの¹⁵⁾帝国が現れた。アメリカとソ連である。とりわけ、冷戦下の両国は、直接的な植民地を持つことによってではなく、¹⁶⁾同盟や協定を通じて自陣側に引き込み、政策決定に影響を与えることが可能な国家を増やすことに注力した。21世紀を迎えた今、中国やインドは¹⁷⁾資源外交、軍事圧力、人口移動を通じて周辺諸国や海域に対する影響力を強めつつあり、その統治のあり方に、新たな帝國的支配の要素を見ようとする研究も現れている。

A. 文中の空所(イ)～(へ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～17)にそれぞれ対応する次の問1～17)に答えよ。

1. デイオクレティアヌス帝がおこなった四分統治体制について1行で説明せよ。

2. 国家財政を立て直すために、武帝がおこなった専売制度の対象産品として正しくな
いものはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. 米 b. 酒 c. 塩 d. 鉄

3. このような統治を行った政治体としてモンゴル帝国をあげることができる。モンゴルの多民族統治政策に関する記述として正しくないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イル＝ハン国は、一時期ネストリウス派キリスト教を保護した
 - b. キプチャク＝ハン国は、イスラームを容認した
 - c. クビライ＝ハン（フビライ＝ハン）は、チベット仏教を保護した
 - d. チャガタイ＝ハン国は、儒教を国教とした
4. ビザンツ皇帝と姻戚関係を結び、ギリシア正教を国教と定めたキエフ公国の君主の名をしるせ。
5. 13世紀に東方交易の拠点として栄えたクリミア半島に進出した都市国家はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ヴェネツィア
 - b. ジェノヴァ
 - c. ミラノ
 - d. ローマ
6. 10世紀後半、中東とインド洋世界を結ぶ交易路は、ペルシア湾ルートから紅海ルートへと変化する。その理由の 1 つとして、9世紀にはペルシア湾ルートの交易路を掌握していたイスラーム国家の政治的混乱が考えられる。この国家の首都はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アレッポ
 - b. カイロ
 - c. サマルカンド
 - d. バグダード
7. ティムール朝の後継国家として、16世紀の西トルキスタンにイスラーム国家群が生まれた。そのうちの 1 つブハラ＝ハン国から、18世紀初頭に自立した国家の名をしるせ。
8. この地域を拠点とし、2001年にアメリカで起こった同時多発テロ事件をひきおこしたイスラーム過激派を保護していた支配組織の名をしるせ。
9. この政策としてムガル帝国が、非ムスリムに対し課した税を何というか。その名をしるせ。
10. インドは多様な宗教が成立した地域でもある。この地における宗教に関する記述として正しいものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アショーカ王は、大乘仏教を手厚く保護した
 - b. ヴァルダマーナは、ジャイナ教を創始した
 - c. サーンチーのストゥーパには、バラモン教聖者が埋葬された
 - d. パータリプトラは、ヒンドゥー教教学の中心地であった

11. 15世紀に朝鮮で支配的立場を確立した官僚層は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
12. この言論弾圧は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
13. イギリスとフランスは北アメリカでも競って植民地の拡大に力を注いだ。太陽王と呼ばれるフランス王の名前にちなんだ、フランス植民地の名をしるせ。
14. ムガル帝国が崩壊した理由は、ムガル皇帝を擁立し植民地支配に抵抗した反乱が失敗したことに求められる。その反乱の名をしるせ。
15. 19世紀にイギリスが東南アジアに獲得した都市はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- | | |
|-----------|----------|
| a. シンガポール | b. バタヴィア |
| c. パレンバン | d. マニラ |
16. 1917年のロシア革命以降の次の経済政策を年代順に並べたとき、2番目に古いものはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- | |
|----------------------------|
| a. 新経済政策に基づく小規模私企業の容認 |
| b. 戦時共産主義に基づく穀物の強制的徴発 |
| c. 第一次五カ年計画に基づく工業化の推進 |
| d. 「土地に関する布告」に基づく土地の私有権の廃止 |
17. 1974年、インドは軍事力誇示のために、パキスタンに隣接するラージャスターン州で核実験をおこない、核保有国として認知されるようになった。同じく核保有国として、1995年から翌96年にかけて南太平洋で核実験をおこなった国はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- | | |
|------------|---------|
| a. オーストラリア | b. ドイツ |
| c. ブラジル | d. フランス |

Ⅱ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

コロンブスがサンサルバドル島に到達したことをきっかけにスペインとポルトガルとの間で生じていた「新世界」をめぐる紛争を解決するため、1494年に（イ）条約が結ばれた。これによって「新大陸」のほとんどがスペイン領となった。このうち南米北部に位置するカリブ海域は、周辺に広がるスペイン領をつなぐ交通の要衝となった。

16世紀に入ると、カリブ海は大西洋から太平洋へ抜ける最短ルートとしての機能も担うことになり、パナマ地峡ルートを通る交易上の重要航路となった。この頃、スペインやポルトガル以外のヨーロッパの国々も「新大陸」に関心を示したが、16世紀の間、それらの国々の王や地方長官はもっぱらスペインやポルトガルに向かう商船を略奪する民間武装船¹⁾を保護し、その戦利品を獲得することに力を注いだ。

ところが、17世紀²⁾にイギリスやフランスなどがスペイン、ポルトガル領の占拠や植民を開始するようになると、カリブ海はヨーロッパ列強の闘争の場となった。なかでもイギリスとフランスの抗争は激しく、スペイン継承戦争の影響を受けてカリブ海でも数多くの戦闘が行われたが、その戦争の講和条約である（ロ）条約が1713年に締結されて以降しばらくの間、カリブ海は相対的に平和の時代を迎えた。

19世紀になると、フランスの植民地であったサン・ドマングが1804年³⁾に初の黒人国家である（ハ）として独立したのをはじめ、イギリスやフランス、オランダの植民地であったカリブ海・中南米の国々は独立を果たしていく。しかしそれとは対照的に、キューバやプエルトリコ⁴⁾ではスペインによる支配体制が強化された。例えばキューバは、砂糖生産が上昇の一途をたどって大きな富を生み出すようになっていたため、スペインにとって経済上の重要性が高かったことがその理由といわれている。

しかし、大規模なプランテーションを経営する植民地生まれの白人らが経済的な力をつけるようになると、スペインによる支配への反感も高まり、キューバでは独立の機運が高まっていった。このキューバの独立運動に乗じてカリブ海と太平洋へ進出する足場をきずいたのがアメリカである。アメリカのマッキンリー大統領はアメリカ＝スペイン戦争をおこして勝利し、フィリピンやプエルトリコ⁵⁾などカリブ海・太平洋のスペイン領植民地を獲得したうえに、キューバの独立を認めさせて事実上の保護国とした。海外植民地の領有にはアメリカ国内から強い反対があったものの、20世紀初頭のアメリカ歴代政権は中南米諸国に対して強い影響力を保持しようとするカリブ海政策を展開した。

こうした強圧的な外交政策は1930年代に転換されるが、第二次世界大戦後もカリブ海諸国はアメリカの強い影響下⁶⁾におかれ続けた。1947年には共産勢力拡大の防止と米州の共同

防衛を目的に、アメリカとラテンアメリカ諸国との間で集団安全保障条約が結ばれ、1948年には（ニ）会議において米州機構の結成が合意された。⁷⁾しかし、他方で中南米地域には強い民族主義に根差した政権も登場し始め、キューバでは革命政府が誕生した。⁸⁾

A. 文中の空所(イ)～(ニ)それぞれにあてはまる適切な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)にそれぞれ対応する次の問1～8に答えよ。

1. 国の許可を受け、ときには出資まで受けて敵国の植民地や船を略奪した民間武装船のことを何と呼ぶか。その名をしるせ。
2. このころチャールズ2世の弟ジェームズの王位継承をめぐってイギリス議会の意見は割れた。このうち、ジェームズの王位継承権を認め、議会の権利よりも国王の権威を重んじた党派はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 王党派 b. 水平派 c. トーリ党 d. ホイッグ党
3. この年にヨーロッパで起きた出来事はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. アミアン条約の締結
b. シュタインのプロイセン首相への就任
c. トラファルガーの海戦の勃発
d. フランス人の民法典（ナポレオン法典）の公布
4. これに関する次の問i iiに答えよ。
i. これらの地域のなかで、シモン＝ボリバルによって独立へと導かれた国はどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. チリ b. パラグアイ c. ベネズエラ d. メキシコ
ii. これら地域の独立を支持するためにアメリカが発表したヨーロッパとアメリカとの相互不干渉を原則とする考え方は、その後のアメリカの外交政策の基本となった。こうしたアメリカ外交の基本路線は何と呼ばれるか。その名をしるせ。
5. この国の独立運動の指導者で、アメリカ＝スペイン戦争後にフィリピン共和国の大統領に就任した人物の名をしるせ。
6. アメリカの外交政策のうち、第27代大統領タフトの政策は何と呼ばれるか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 宣教師外交 b. 善隣外交 c. ドル外交 d. 砲艦外交

7. この条約の名をしるせ。
8. 1946年にアルゼンチンの大統領に就き、反米的な民族主義を掲げて社会改革を行った人物の名をしるせ。

Ⅲ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

馬は人類にとって、牛とならんでもっとも身近で親しみやすい大型動物である。旧石器時代のラスコー洞穴にもその姿が写實的に描かれており、人類がそれらを狩猟の対象としてきたこと¹⁾をうかがい知ることができる。

紀元前1万年ごろ最後の氷期が終わって気候が温暖化すると、狩猟だけでなく、農耕²⁾や牧畜も始まった。

牛や馬などの家畜を財産とする遊牧民は、草と水を求めて季節的に移動し、遊牧と狩猟の生活を営んだ。遊牧民にとって馬は重要な移動用家畜であっただけでなく、農耕民との戦闘に際して大きな戦力でもあった。騎馬技術に優れた遊牧民は騎馬遊牧民と呼ばれ、イラン系の騎馬遊牧民であったスキタイは世界史上最初の遊牧国家のモデルを作ったとされる。そのスキタイにつづいて内陸アジア東部でも前4世紀頃から騎馬遊牧民の活動が活発となり、モンゴル高原南部の匈奴、天山山脈北麓の(イ)、甘粛・タリム盆地東部の月氏などがあらわれた。匈奴や(イ)に追われた月氏の一部は、西方で大月氏をたてた。また匈奴は、成立後まもない漢を圧迫したため、漢の武帝³⁾は、匈奴挾撃の交渉のために大月氏に(ロ)を派遣している。結局のところその目的は果たせなかったが、これを契機に西域の事情を知った武帝は、その支配を西域へと広げていった。

また、ユーラシア大陸の東西では、馬は戦闘⁴⁾だけではなく競技にも用いられた。馬に乗って長い柄のついた木の槌で球を打つ(ハ)競技も古くから愛好されてきた。イランが起源とされるこの競技は、インド⁵⁾、チベット⁶⁾や唐代初期⁷⁾の中国にも伝わり、それはまた朝鮮にも広まった。

⁸⁾中世ヨーロッパでも馬は重宝された。重い鎧をまとった騎士⁹⁾を戦地に乗せていく強さとスタミナを備えた大型の軍用馬は、人々から高い賞賛を受けた。また、勝ち抜き戦を意味する「トーナメント」の語源ともなったヨーロッパ中世の騎士による馬上試合は、実践的な演習を兼ねたスポーツであった。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～9)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。

1. この洞穴が発見された1940年、フランス中部にヴィシー政府が成立した。この政府の国家主席となった人物の名をしるせ。

2. このうち、肥料を施さず、自然の地力のみによって作物を生産する農法を何と呼ぶか。その名をしるせ。
3. この人物の死後に生じた権力争いのなかで勢力を伸ばした王莽は、漢の皇帝を廃位して新を建てた。この新王朝に対して各地で起こった農民反乱はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 永嘉の乱 b. 黄巾の乱 c. 赤眉の乱 d. 八王の乱
4. 後漢時代に西域都護としてその統治領域を拡大し、97年には部下の甘英を大秦国へ派遣した人物の名をしるせ。
5. 北インドの大部分を統一していたグプタ朝期に、カーリダーサによってつくられた戯曲はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. シャクンタラー b. マハーバーラタ
c. ラーマヤナ d. リグ＝ヴェーダ
6. チベット系民族である羌の一派で、11世紀前半に西夏を建てた部族の名をしるせ。
7. この時代の書家で、楷書の典型を作り出したとされる人物は誰か。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 閻立本 b. 歐陽詢 c. 孔穎達 d. 呉道玄
8. 三国時代の朝鮮にあった新羅では、王都に居住する人々をいくつかの階層に分け、王族・官僚貴族の身分を厳格に定めていた。この身分制度のことを何と呼ぶか。その名をしるせ。
9. 中世騎士の理想像や冒険を題材にした文学作品のうち、カール大帝のスペイン遠征を題材としたフランスの武勳詩の名をしるせ。

【以下余白】

